巌のしらかし

《白橿中学校だより 第８号》
令和８年 10月29日発行
文責：　校長　　西村 拓司

✦心を一つに、全力で駆け抜けた体育大会

体育大会スローガン　『勇往邁進（ゆうおうまいしん）』 ～想いをひとつにして勝利の道へ～



開会式～選手宣誓～

【入賞の結果】

競技の部	○【優　　勝】	赤団
	○【準 優 勝】	緑団
応援合戦	○【最優秀賞】	緑団
団　　旗	○【最優秀賞】	赤団



横断幕スローガン制作：体育大会実行委員会

去る10月21日（水）体育大会が行われました。ここ数日の雨模様がうそのように、当日は秋晴れの絶好の体育大会日和となりました。

今年度から、学年や学級の枠を超えた４色の対抗戦となり、初めての試みとなりました。競技はもちろん、色別の応援合戦でも、それぞれの色団が心を一つにして団結し、全力で取り組む姿が見られました。中でも、これまでのプログラムにはなかった応援合戦は、各団の個性と団結力が存分に発揮された素晴らしいものでした。そして、後半の「全員リレー」では、最後まで勝敗の行方がわからない手に汗握る展開で応援は最高潮に達しました。プログラム最後の全校生徒による「白中ソーラン」では、みんなの心が一つになった瞬間を感じました。本当に素晴らしかったです。みなさんの一生懸命な姿に私も大きな感動を覚えました。

勝敗結果はありますが、仲間を信じ、気持ちをつなぎ、互いに協力し合った経験こそが、勝ち負けに関係なく、みなさんにとって何よりの財産になると思います。また、実行委員会を中心に作成してくれたダイナミックな横断幕や、各団の団旗も見事なものでした。運営面では、準備から当日の運営まで、保体委員会をはじめ、放送係、準備係など、それぞれの役割をしっかりと果たしてくれたと思います。体育大会で得た自信や仲間との絆、一体となってやり遂げた達成感を、ぜひこれからの学校生活にも生かしてください。

最後になりましたが、早朝より応援に駆けつけてくださったPTA役員のみなさま、保護者のみなさま、ご来賓のみなさま、関係者のみなさまに心より感謝申し上げます。温かいご声援をいただき、ありがとうございました。引き続き、ご支援とご協力の程よろしくお願い致します。



綱引き



全校生徒による「白中ソーラン」



緑団　応援合戦

かしはら未来会議を終えて

『SDGｓ11 住み続けられるまちづくりを』
～廃校活用・環境整備プロジェクト～

【日時】10月18日（日曜日）14：00～
【場所】かしはら万葉ホール（５階ホール）
【発表者】１年生６名（未来会議実行委員）

SDGs11「住み続けられるまちづくりを」
廃校活用・環境整備プロジェクト





10月18日（日）「かしはら未来会議」において、本校1年生が学校を代表して「白橿町の未来のまちづくり」について発表してくれました。この会議は、橿原市が主催し、未来の橿原市をよりよくするためのアイデアを提案する場で、市内中学校４校と高等学校２校が参加しました。

今回の取り組みは、文化祭でのSDGs学習と全校生徒へのアンケートから始まりました。アンケート結果を集約すると、主な課題としては次の４点にまとめることができます。

①道路や交通の安全対策　　②公共施設や遊休地の有効活用
③福祉や少子高齢化への対応　　④観光・地域活性化と環境保全

生徒たちは、これらの中から「廃校活用」と「環境整備」に焦点を当て、SDGs目標11「住み続けられるまちづくりを」を柱に提案を考えました。特に私が感心したのは、生徒たちが自ら発表者として立候補し、実際に白橿小学校や教育委員会に相談をして、廃校となった校舎を視察したり、白橿会館を訪れて話を聞いたりするなど、積極的に行動したことです。自分たちの目で見て、耳で聞き、考えたからこそ、発表にはとても説得力が感じられました。

「廃校活用」については、デイサービスに加え、多世代が交流できるイベントスペースを設ける案が提案されました。世代を超えた交流が、人と人とのつながりや生きがい、安心感を生み出すという考えです。

「環境整備」では、街灯の増設、歩道の整備、十字路の安全対策が提案されました。実際に町を歩いて撮影した写真を示しながら、さらに自転車道の整備、子どもたちがデザインするオリジナル安全標識の作成、イベント時に使用できるセンサーライトなど、独自のアイデアも披露してくれました。

今回の発表を通して、住みよいまちづくりは、行政や地域の大人だけが担うものではなく、そこに暮らす一人ひとりが課題に気づき、一緒に考え、行動することが大切だと感じました。発表を終えて、審査員の方から「しっかりと議論をしてデータ収集し、現場に赴き、自分たちが感じたことをまとめた、とても素晴らしい発表でした。」とご講評をいただき、「審査員特別賞」を受賞することができました。白橿町で見つけた課題やアイデアは、橿原市全体の未来のまちづくり、県や日本における課題にもつながっていると思います。子どもたちの豊かな発想と行動力を私たち職員も大切に育み、地域の皆様と手を携え、よりよい学校づくりに取り組んでまいります。今後ともご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



「かしはら未来会議」の発表の様子



『審査員特別賞授賞式』　亀田市長とともに